

## 【議事要旨】

### 第5回 野鳥公園整備に関する検討委員会

- 1 日 時 平成26年11月25日（火） 14：00～16：00
- 2 場 所 あいれふ 7階 第2研修室
- 3 出席者 〔委員〕  
春日井委員長，大谷委員，小島委員，坂井委員，田村委員，森橋委員  
（欠席 中村委員）
- 4 議事次第
  - (1)議 題  
野鳥公園基本計画（整備プラン）（素案）について
  - (2)その他

#### 【配付資料】

- 資料1 野鳥公園基本計画（整備プラン）（素案）
- 参考資料1 野鳥公園でのシギ・チドリ類の保全について
- 参考資料2 アイランドシティ整備事業

第5回 野鳥公園整備に関する検討委員会 議事要旨

	<p>○ 開会</p> <p>計画部長挨拶</p> <p>○ 今後の予定について</p> <p>事務局 資料1「野鳥公園基本計画（整備プラン）（素案）」については、本日委員の皆様から頂いた意見を踏まえて必要な修正を行い、その後、市民意見の聴取を行う予定である。</p> <p>○ 議題</p> <p>野鳥公園基本計画（整備プラン）（素案）について</p> <p>委員長 事務局から資料1「野鳥公園基本計画（整備プラン）（素案）」の1ページから8ページまでの説明をお願いします。</p> <p>事務局 (資料1の1ページから8ページについて事務局より説明) 資料1：野鳥公園基本計画（整備プラン）（素案）</p> <p>委員長 只今の説明は、第4回までの検討委員会で、既に検討頂いた部分を再整理したものであった。この中で7ページの「野鳥公園で保全すべき鳥類」については、施設整備内容に深く関わってくるところであり、別途参考資料が用意されている。事務局より参考資料1についても説明をお願いします。</p> <p>事務局 (参考資料1について事務局より説明) 参考資料1：野鳥公園でのシギ・チドリ類の保全について</p> <p>委員長 野鳥公園で保全する鳥類については、これまでの検討委員会でも議論を行ってきたが、主としてシギ・チドリ類を対象とする基本計画の考え方について、まずは鳥類の専門家である委員の意見を伺いたい。</p> <p>委員 資料はよくまとまっていると思う。シギ・チドリ類の生態系は、よく分かっていないところもあるので、この整備プランに沿って少しずつ環境づくりを進めていき、状況に応じた対応を行っていけばよいだろう。</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

委員	<p>シギ・チドリ類を主とした対象とすることについては賛成である。</p> <p>参考資料1からエコパークゾーンへの鳥類の飛来は、陸ガモ類、海ガモ類の数が断然多いことが分かる。</p> <p>海ガモ類は、海域を利用するので野鳥公園を整備したときに、それほどシギ・チドリ類と競合することはないと思うが、陸ガモ類は、シギ・チドリ類に比べて数が多く、アイランドシティ中央公園などの陸域を利用するということなので、野鳥公園を整備したときに陸ガモ類とシギ・チドリ類が競合関係にならないか。</p>
委員	<p>陸ガモ類も、水深の浅い海や河口などが利用の中心であり、休息で陸域をよく利用する種や満潮時に陸域で採餌する種もいるが、現状のとおりエコパークゾーンの浅海域が確保されていれば大きな競合関係にはならないと考える。</p>
委員	<p>参考資料1に野鳥公園内でのシギ・チドリ類の休息場整備として、整備の方針と具体的な整備内容が示されている。対象とする種を特定して、それに対応する整備を行うことになると思うが、他の種も飛来してくるという考え方か。</p>
委員	<p>野鳥公園にそれなりの環境ができれば、シギ・チドリ類以外の鳥類も来るだろう。鳥自身が取捨選択する。</p> <p>現在、和白には食物連鎖の頂点に位置するハヤブサが居る状況の中で、シギ・チドリ類など小さな鳥も利用している。</p> <p>野鳥公園も問題なくやっていけるのではないかと考えている。</p>
委員長	<p>見通しが良すぎる場所にシギ・チドリが居ると、ハヤブサなどの猛禽類から狙われて危険なのだろうか。</p>
委員	<p>ハヤブサは全てのシギ・チドリを狙っているわけではなく、群れの中で傷ついたり弱い1, 2羽を狙っているので、この計画の内容で問題ないと考えている。</p>
委員	<p>8ページの活動プランの実施時期の表における実線と波線の違いは何か。</p>

市関係課	<p>活動プランの実施時期については、短期、中期、長期という3段階のフェーズで整理をしている。</p> <p>市民が速やかな整備を求めており早急に着手する必要があるものについては、実線で記載している。</p> <p>また、長期的に様子を見ながら検討し取組んでいく必要があるものについては、波線で記載している。</p>
委員長	<p>資料1の1ページから8ページと参考資料1全体を通して他に何か意見や質問は無いかな。</p>
各委員	<p>(特に意見なし)</p>
委員長	<p>野鳥公園で保全すべき鳥類を、主としてシギ・チドリ類とするということの考え方について、まとめたということによろしいかな。</p>
各委員	<p>(異議なし)</p>
委員長	<p>続いて事務局から資料1「野鳥公園基本計画(整備プラン)(素案)」の9ページ以降について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料1の9ページ以降について事務局より説明)</p> <p>資料1：野鳥公園基本計画(整備プラン)(素案)</p>
委員長	<p>9ページの野鳥公園の目指す姿である目標像について意見は無いかな。</p>
委員	<p>9ページの右側の図に「自然との身近なふれあい」「環境学習の拠点」「多様な生物の生息環境の創出」とあり、これらを実現していくためには、市民と一緒に取組んでいく必要があると考える。</p> <p>17ページに、管理運営を市民と一緒に取組んでいくことについて記載されているが、9ページの目標像に向かって具体的に市民と一緒にどのように取組んで行くのか見えにくい。</p> <p>市民と一緒に取組んでいくためには、何も形が無い段階から市民が積極的に関わることで声も出しやすいと思う。</p> <p>野鳥公園は、成長する野鳥公園という基本コンセプトにもあるように、「も</p>

	<p>の言わぬ命を育む」ということで女性の特徴を活かせるのではないかと思う。女性にも仕組みづくりから積極的に関わって欲しい。</p>
委員長	<p>ラウンジカフェでまとめた活動プランをどう動かしていくかという仕組みづくりについて、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>17 ページにおいて管理運営について示している。 ラウンジカフェにおいて示された活動プランを市民やNPOの方々の協力を得て、共に育てていくような仕組みづくりについて、今後の公園整備と並行して検討していきたい。</p>
委員	<p>9 ページ (2) 「野鳥公園の目指す姿」の②「エコパークゾーンにおける野鳥公園」については、人工的に造成した場所で自然をどう再生させるかということを目指していると思う。そういう意味合いを込めた表現がよいと考えるので検討をお願いしたい。</p>
事務局	<p>整備の方向性のひとつとして「生物の生息空間の創出」がある。エコパークゾーンを含む博多湾東部海域については、残すべきところは今後もしっかり残していく、また、人が手を加えることによって環境の質をさらにあげていく、さらにこれまで無かったところに新たな場所をつくって命を育ていく、これらの取組みが一体となってエコパークゾーンの豊かな自然が未来に渡って継承されていくものと考えている。意見を参考に記載の内容を検討する。</p>
委員	<p>9 ページ (2) 野鳥公園の目指す姿の①②③④のタイトルは、目指す姿が分かるようなタイトルにしてはどうか。 例えば、②のタイトルは、「エコパークゾーンの豊かな自然環境を目の前で実感できる場となる」など、役割を示した方が分かりやすいと思う。</p>
委員長	<p>10 ページ以降の個別具体的な整備内容について意見は無いか。</p>
委員	<p>16 ページの施設計画で、トイレ、サイン、管理舎、遊具と項目別に整理されているが、野鳥公園として一体的に全体の調和がとれるような整備をお願いしたい。各施設を分離して発注する場合もあるだろうから、サインやアートなどを含めて全体の調和がとれるような体制を整えて整備するとよい公園</p>

	<p>になると思う。</p> <p>その際、ガイダンスセンターが重要になってくると思う。ガイダンスセンターは、デザイン性、話題性に優れた市民の目を引くものになればよい。</p> <p>17 ページの管理運営の体制づくりに関係するが、いつをもって野鳥公園が完成するのかということがひとつのポイントになるだろう。資料 8 ページのラウンジカフェでとりまとめた活動プランの実施時期として、平成 45 年という約 20 年後をターゲットにした表が示されている。20 年という期間は、樹木が成長する期間としても一番よいと考える。これぐらいの期間に渡って継続的なモニタリングを行い、成長する野鳥公園となるとよい。継続した調査を行うことが野鳥公園の維持のポイントになると思う。</p> <p>18 ページのガイダンスセンターについては、最後のステップ 3 の時点での整備を待たず、野鳥公園はこういう施設ですということが分かるように、できるだけ早期の整備が望まれる。</p>
<p>委員長</p>	<p>全体の調和がとれるような統一的なデザイン、責任をもって実行する体制、その中に市民の意見を取り入れる体制など、重要な意見を頂いた。</p>
<p>事務局</p>	<p>早い段階から野鳥公園の管理運営を市民やNPOと一緒に取り組んで行こうというのがコンセプトの第一要素である。また、成長する野鳥公園として、海の自然を学ぶゾーンと自然の成長を学ぶゾーンについては、最初から完成させるのではなくモニタリングを行いながら進めていくこととしている。</p> <p>管理運営体制については、17 ページに記載しているとおり、みんなで関わる野鳥公園として、今後、早急に組織づくりについて検討していく。</p> <p>デザインとサインの統一性については、公共事業は分離分割発注が原則となっているものの、デザインの専門家に入って頂くなど、しっかりフォローする組織体制などについて検討していきたい。</p> <p>ガイダンスセンターについては、一旦整備した後の変更は難しいことから、野鳥公園でどのような取組みを行っていくのか、どういう要素が必要なのかななどを十分に見極める必要があると考え、整備時期を後半に置いている。</p> <p>一方で、市民やNPOの方々に協力して頂くため、16 ページの施設計画で示したとおり、当面は管理舎を拠点として活用して頂くことを考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>管理舎ができる早い段階から、ケガをした鳥の応急処置ができるような、鳥の救急病院の機能を確保してほしい。来園者がその様子を見ればとても感動すると思う。</p>

事務局	<p>管理舎については、順応的管理手法に基づく公園づくりに参画して頂く市民やNPOの方々の休憩や資材置き場などに利用される仮設的なものをイメージしている。その時点では、まだ公園内に一般の人が自由に入ってくる状況にはなく、管理舎に管理人や獣医師を常駐させることまでは考えていない。</p> <p>将来のガイダンスセンター検討の際には、ケガをした野鳥への対応として、野鳥の応急処置のための連絡網を作成するなど、何らか検討したい。</p>
委員長	<p>ケガをした野鳥の応急処置のための連絡網を構築するなどにより対応するということであるが、よろしいか。</p>
委員	<p>はい。</p>
委員長	<p>開園時間についてはどのように考えているのか。</p>
事務局	<p>開園時間については、防犯とも大きく関連するところであり、まだ24時間オープンなのか、閉園時間を設けるのかについては決まっていない。今後、どのように運営するか検討していきたい。</p>
委員長	<p>他都市の野鳥公園においても24時間オープンしている施設は無かったのではないか。野鳥のためには、夜間照明を付けるのもどうかと思うので、夜間は閉園するのだろう。開園時間に関しては、市の方でしっかりと検討してほしい。</p>
委員	<p>13ページの湿地を整備するときの土砂については、砂の粒径を考慮してほしい。水辺があるにも関わらず土が硬すぎてシギ・チドリが来なかったという事例がある。</p> <p>14ページの親水ルートについては、鳥との距離を確保しなくてはいけない。親水ルートについては、時期により一部閉鎖するというを十分考慮してほしい。閉鎖する時期に人が通ることになる緑陰ルートをできるだけ長く整備するなど、鳥との距離が保てるように考慮してほしい。</p> <p>15ページの植栽計画に関してだが、野鳥公園予定地で自然に生えている植物の調査が行われており、これらの自生の植物を人工的な植栽工事よりも優先することによって経費削減になるのではないか。</p> <p>16ページのガイダンスセンターについては、建物の建築は遅い時期になっ</p>

	<p>てもよいが、機能は早い段階から持たせておかないと、管理運営で問題が生じてくるかもしれない。</p> <p>野鳥公園という名称についてであるが、単なる野鳥公園ではなく、例えば地名を最初につけるなど、改めて考えた方がよいのではないか。</p> <p>市民との関わりということに関しては、かつての野鳥公園ラウンジカフェのようなものを新しい形で行うことができれば、市民との意見交換ができる場、さらにはボランティアが育つ場になると思う。</p>
委員長	<p>土が硬すぎるとするのは、どういうことか。</p>
委員	<p>干満の差を利用して海水を導入するタイプの人工干潟でも、今までの例では、本来の干潟のような土砂供給のバランスを取るのは難しい。今回の野鳥公園は閉鎖された水辺ということで、土砂の動きも少ないため、泥がいつの間にか締め固められてしまうということがないようにということである。</p>
委員長	<p>アイランドシティ中央公園の池は、どのような土砂か。野鳥公園の湿地では、どのような土砂を想定しているのか。</p>
事務局	<p>アイランドシティ中央公園内の池は、人工的につくった池であり底部は砂利を使用していたと思う。</p> <p>また、野鳥公園では、13ページの湿地整備の考え方に記載しているとおり、地盤の地質は、レキ質、砂質、粘土質など多様な環境を創出し、野鳥の飛来状況をモニタリングしていくことにしている。</p>
委員長	<p>親水ルートは一部閉鎖するということもあるが、できるだけ鳥を驚かささないような工夫をして欲しいという意見である。これについては、今後、管理や運用を考える中で、検討して頂けるものと考えている。</p> <p>自然に生えてきた植物をできるだけ利用してほしいという意見については、適切な対応を検討してほしい。</p>
委員	<p>順応的管理を行っていくうえで、湿地周辺に高木や外来種の植物が生えてきた場合などの対応について、何らかの基準を設けておく必要があるのではないかと。管理者によって、高木や外来植物を切ったり切らなかったりという異なる対応にならないようにすべきである。</p> <p>北九州市の響灘ビオトープでは、ボランティアの方々による高木の撤去や</p>



<p>委員長</p>	<p>外来植物の排除などが行われているようだ。</p> <p>葛西臨海公園でもボランティアの方々が外来植物を刈っていた。外来種などへの対応については検討が必要だろう。</p>
<p>委員長</p>	<p>ガイダンスセンターに必要な機能は、管理舎ができる早い段階から持たせることが必要という意見については、市役所で検討して頂けるものと考えている。</p> <p>名称変更の件については、後で議論を頂きたい。</p> <p>市民との関わりに関しては、野鳥公園ラウンジカフェで活動プランがとりまとめられており、市民と一緒に動かししていく体制づくりが重要であると考えている。</p>
<p>事務局</p>	<p>まずは本日のご意見を踏まえて整備プランの修正を行い、来年度以降、整備に取り組んでいく中で、体制づくりについてもしっかりと考えていきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>たくさんの方が関わってくると、各々が様々なベクトルを持っていて、勝手なことをやり出す人もでてくると思うので、それを柔らかく包み込むような管理運営の枠組みが必要になるだろう。市役所で対応が難しいようであれば、専門家を入れたアドバイザー会議などをつくってはどうかと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>公園づくりは、順応的管理を行いながら生物の生息環境を整えていくこととしているが、これは設定した目標に向かって上手く進んでいるか検証を行い、必要に応じて改良を加えるという作業を繰り返していくものである。管理運営がきちとんと機能するように、専門家の指導を頂きながら市民が関わる仕組みづくりが重要であると認識しているので、今後、しっかりと取り組んでいきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員から、管理運営について事前に意見を頂いているので、ここで紹介したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備後に、長いスパンでの管理・運用の方法を探っていく必要がある。しばらくは福岡市の主導とサポートが必要と思うが、緩やかに市民主導の基での利用と管理に移行できればと願っている。</li> <li>・技術的には、最初から完成形を土木的に作り上げるということではなく、竣工後も丁寧なモニタリングを行い、自然相手なので順応的管理の考え</li> </ul>

	<p>方の基で、モニタリング結果に基づいた柔軟な運用を行っていただきたい。</p> <p>その他に全体的な意見として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイランドシティ全体を考えると、博多港に面する物流機能の拠点であるコンテナターミナル周辺部分と、和白干潟に面する野鳥公園やその周辺部分のエコパークゾーンとが、背中合わせにうまく共存した場所になればと思う。野鳥公園の干潟部分に、航路浚渫の土砂が活用できれば、さらに、活気ある物流と豊かな環境の共存が結びつく、よい例となると期待している。</li> </ul>
委員長	<p>紹介された意見は、今の整備プランの方向性に合ったものであると思う。最後に航路浚渫の土砂の活用に関する意見があったが、これについて意見は無いか。</p>
委員	<p>12, 13 ページにも記載されているように、野鳥公園前面の海の自然を学ぶゾーンにおいて、浅場を整備して石組みやアマモ場をつくるというコンセプトは非常によいと思う。その際に可能であれば、浚渫土砂を利用できればよりよいと思う。</p> <p>それに加えて、エコパークゾーン環境保全創造計画でも提案されているが、和白海域は夏季に貧酸素水塊が発生するので、浚渫土砂等を利用して浅場造成、覆砂を行うと、よい意味での自然との共生ができると思うので、ぜひ検討頂きたい。</p> <p>海の自然を学ぶゾーンについては、例えば野鳥公園東側の既存の階段護岸を利用して海に下りていけるような場をつくるなど、海の自然を学べる工夫について検討して頂きたい。</p>
委員長	<p>海域環境の改善について、浚渫土砂を活用した覆砂等に関する意見を頂いた。この件について委員からも意見を頂きたい。</p>
委員	<p>浚渫土砂を有効活用した覆砂等に関しては、第4回の検討委員会で検討のご指示を頂戴したと認識しており、環境改善効果や実際の施工ができるかという点について検討に着手している。適切な環境創造となるよう検討を進めていきたい。</p>
委員長	<p>その他にご意見は無いか。</p>

各委員	(特に意見なし)
委員長	それでは名称変更の件についてご意見を頂きたい。
委員	<p>第1回の検討委員会で、野鳥公園という名称が本当にこれからこの場で行おうとしている公園づくりに適しているかという意見を出した。野鳥をメインにした公園であることに間違いはないが、「自然の成長を学ぶゾーン」や「海の自然を学ぶゾーン」にもあるように、「自然」という言葉がキーワードになると思う。</p> <p>例えば、「エコパークゾーン自然公園」や「バイオパーク」など、もう少し幅広いイメージができるような名称にした方がよいと思っている。</p>
委員	<p>アイランドシティと御島を結ぶ橋の名称については、市民に愛着を持って頂けるようにとの観点から市民意見を募集し「あいたか橋」となった。</p> <p>野鳥公園の存在をアピールするうえでも名称の公募を行うことを考えてはどうか。</p>
事務局	<p>野鳥は、博多湾東部の生態系のシンボルとなる生き物であるが、この公園は多くの人に関わりながら、様々な生き物にとって、よりよい場所となることをめざすものであるため、ご指摘のようにもう少し広いイメージができるようにすべきかもしれない。名称の公募は、野鳥公園を広く認識してもらう良い機会ともなるので、名称については多くの意見を聞きながら検討すべき内容だと考える。</p>
委員	<p>油山の「油山自然観察の森」や海の中道の「海の中道海浜公園」のように頭に親しみやすい固有名詞を付ければよいと考える。日本中の人に、あそこの公園だと分かってもらえるような固有名詞を皆で考えていくべきである。</p>
委員長	<p>野鳥公園には様々な機能が含まれていること、エコパークゾーンに隣接した和白干潟を望む重要な場所の公園であること、更には、単に自然だけでなく環境学習や市民が憩える場として整備することになると思うので、名称については、市民からいろいろな意見を頂いて別途ご議論を頂ければと思う。</p> <p>また、名称公募を行う際には、固有名詞の件を参考情報として入れるなどの対応も検討してほしい。</p>

委員	<p>第1回の検討委員会で基金や寄付による公園づくりを進めていけるようになるという趣旨の発言をした。これを受けて整備プランの中には、記念植樹をやっていくという内容も盛り込まれている。このような活動を活発に行うことで、市民が野鳥公園に目を向けてくれる側面もあると思うので、記念植樹や記念銘板など多くのメニューがあるとよいだろう。</p>
委員長	<p>全体を通して何かご意見は無いか。</p>
各委員	<p>(特に意見なし)</p>
委員長	<p>意見が無いようなので、これまでの議論をまとめさせて頂く。  本日は、前回までの議論をもとに「将来の野鳥公園が目指す姿」をご議論頂いた。次にその目指す姿を実現するための整備の基本方針及びそれを踏まえた整備計画案についてご議論頂いた。  今日頂いたご意見やご助言については、事務局で適宜参考にされて、この後の最終的な整備計画の案を整えて頂ければと思うが、概ねこの案で妥当ということではよろしいか。</p>
各委員	<p>(異議なし)</p>
委員長	<p>それでは、事務局は本日出された意見を十分に踏まえて整備プランを取りまとめて頂きたい。</p>
	<p>○ その他</p>
委員長	<p>それでは、「2. その他」に移ることとするが、事務局から何かあるか。</p>
事務局	<p>今後の進め方についてだが、本日頂いた意見を踏まえて事務局で修正を行い、野鳥公園基本計画（整備プラン）の案を整える。その後、年度内に市民意見を募集し、それらを反映させた後、来年度の早い時期に野鳥公園基本計画（整備プラン）として策定したいと考えている。  本日の意見を踏まえた修正の確認については、委員長に一任頂きたいと考えるが委員の皆様よろしいか。</p>

各委員	(異議なし)
事務局	本委員会は、今回をもって終了となるが、市民から頂いた意見への対応等について、委員の皆様にご相談させて頂くこともあるかと思うので、その際はよろしくお願ひしたい。
委員長	<p>以上で本日の議事を終了する。進行を事務局に返す。</p> <p>○ 閉会</p>
事務局	<p>計画部長挨拶</p> <p>以上で野鳥公園整備に関する検討委員会を終了する。</p>